

環境県民局 資 料	No. 2
--------------	-------

令和6年6月28日  
課名 環境県民局わたらしい生き方応援課  
担当者 課長 佐伯  
内線 2733

## 令和5年度のエソール広島の活動状況について

### 1 要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和5年度の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

### 2 現状・背景

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めていくために、取組を着実に実施することが重要であることから、事業の実施状況や施設の利用状況等を取りまとめ、活動の振り返りを行うことで、今後の取組の充実・強化を図ることとしている。

### 3 概要

#### (1) 対象者

県民

#### (2) 事業内容（詳細は別紙のとおり）

「わたらしい生き方応援プランひろしま」に基づき、性別にかかわらず誰もがわたらしく生きることのできる社会を実現するため、次の3点を重点項目として事業を行った。

##### <重点項目>

- (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- (イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- (ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

#### ア 重点項目等の主な取組

##### (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

- ・ 性別による固定観念の解消に向け、性別役割に関する「もやもや」した思いや違和感を川柳の形で募集・発信し、県民の共感と気づきにつなげることで男女双方の意識改革を促す「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」を実施した。
- ・ 一連の取組をSNS等を活用して発信したほか、優秀作品とそこに込められたメッセージをまとめたリーフレット・パネルを作成し、イベントや公民館等4カ所で展示・配布するなどの事後広報を行った。【応募総数：1,649作品、報道掲載回数：延べ36回】



### (イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

- ・ 家族や職場の人間関係トラブルなどの悩みに対し、電話相談や面接相談、専門機関等へ繋ぐなどの対応を行った。相談者の年代別では50代が4割を占めており、「健康、孤独など人生における不安や悩み」に関する相談が増加した。

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比
一般相談	電話相談	2,218件	2,165件	102.4%
	面接相談	100件	110件	90.9%
合 計		2,318件	2,275件	101.9%

- ・ このほか、複合的な悩みを抱える女性等に対し、専門家に相談できる無料相談会を実施した。【専門家相談会参加者（LGBT除く）：32人】

### (ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

- ・ 性の多様性の悩み等について、週1日の電話相談で対応した。相談者の年代別では60代が3割を占め、当事者を支援する民間団体へ繋ぐ対応が増加した。

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比
LGBT相談	電話相談	263件	210件	125.2%
	面接相談	5件	—	—
合 計		268件	210件	127.6%

- ・ このほか、支援者による面接相談及び専門家等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。【専門家相談会参加者（LGBT相談）：38人】
- ・ 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象に、基本的な知識の理解や支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。【出前授業：23回 3,719人】

### (エ) 重点項目以外の主な取組（交流・連携）

- ・ 女性特有の健康課題について考えるイベント「FEMTECH FES（フェムテック フェス）」を民間団体と共催し、関連企業や団体、高校生など10団体の出展により実施したところ、団体同士の交流が生まれ、その後の継続的な連携イベントに繋がった。  
【FEMTECH FES（フェムテック フェス）参加者数：120人】

## イ 利用状況

- 新型コロナウイルスの感染症による行動制限の解除に伴い、エソール広島の各種事業の再開や、ジェンダー関連イベントなどの利用が広がったことにより、前年度に比べて利用者数は増加した。
- 一方、高等学校への出前授業等の実施校の減少や、エソール広島の講座等への県東部や北部からの参加者が少ないなどの理由により、利用者数目標の3万人には達していない。

区分	令和5年度	令和4年度	対前年度比
利用者数	25,566人	25,132人	101.7%
うち外部施設での参加者数 （出前授業等）	5,955人	9,871人	60.3%

## ウ 事業の振り返り

- 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革では、県と連携して新たに川柳コンテストを開始し、応募や投票等に子育て世代の女性を中心とした多くの県民を巻き込み、予想を上回る反響が得られたほか、ジェンダー平等に取り組む民間団体と連携し開催したイベント等により、交流や連携が広がった。
- また、相談対応においては、同じ悩みを抱える方同士で繋がりたいという相談者のニーズを踏まえたグループ相談の場の提供など、支援の充実を図ったところである。
- 一方で、目標としている利用者数に届いておらず、その要因として、エソール広島の活動の周知や認知が広がっていないことや、広島市域以外の利用者の増に繋がっていないこと、市町や関係団体と広報啓発や活動の連携が十分できていないことなどが挙げられる。

## エ 今後の取組の方向性

- 利用者ニーズや社会環境などを踏まえた講座等のテーマや実施方法を工夫するとともに、ホームページを改修し、コンテンツの充実を図るなど訴求効果の高い情報発信を行い、認知度の向上を図るとともに利用者の満足度を高め、利用者数の増加に繋げる
  - 広く県内各地から利用されるよう、市町等との連携を強化し、講師派遣やイベント等についての広報周知、オンライン中継配信など参加者の属性に応じた参加しやすい手法を検討し実施する
- など、エソール広島の実施する事業の見直しや充実を図っていく。

なお、依然として家事・育児等の無償労働時間は女性に偏り、男女の賃金格差は大きく、その背景には、固定的な性別役割分担意識があると指摘されており、こうした状況も踏まえ、将来のエソール広島の役割や機能などについて、女性団体や有識者など幅広い方々の意見を聞きながら今後の方向性を検討していく。

## (3) スケジュール（実施期間）

令和5年4月～令和6年3月

## 令和5年度のエソール広島の活動状況について

〔 令和6年6月28日 〕  
わたらしい生き方応援課

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和5年度の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

## 第1 エソール広島の事業の実施状況について

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めて行くため、次の3点を重点項目として事業を実施した。

## ＜重点項目＞



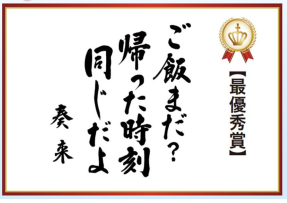

- 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

## 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革



## (1) 事業内容

- 性別による固定観念の解消に向け、県民が日頃抱いている性別役割に関する「もやもや」や違和感を川柳の形で募集、優秀作品を発信し、県民の共感と気づきにつなげることで男女双方の意識改革を促す川柳コンテストを実施したほか、性別によるアンコンシャス・バイアスについて考える講座を開催した。

## ア わたらしい生き方を選択するための「わた生きゼミ」特別企画

講座名	内容
<p>○ちいともやもや ジェンダー川柳コンテスト</p> 	<p>「男だから」「女だから」といった思い込みや決めつけで「もやもや」した思いや違和感を川柳の形で募集し、県民投票等により共感性の高い作品を表彰するなど県民参加型のコンテストを実施した。一連の取組を SNS 等を活用して発信したほか、優秀作品とそこに込められたメッセージをまとめたリーフレット・パネルを作成し、イベントや公民館等4カ所で展示・配布するなどの事後広報を行った。</p> <p>応募総数 : 1,649 作品          県民投票参加者数 : 663 名          報道掲載回数 : 延べ 36 回</p> <p>(広報)</p>   

## イ 男女共同参画公開講座

講座名	内容
<p>①男女共同参画週間特別公開講座 「なぜ縮まらないジェンダー格差！」</p> 	<p>男女共同参画週間（6月23日～29日）に先立ち、ジェンダー格差が生じる要因の一つとして考えられる「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」について学ぶ講座を実施した。</p> <p>実施日：6/14(水)13:30～15:30 参加者：101名（うちオンライン64名） 満足度：80.4% 受講者の声：「男女格差を受け入れてしまう心のしくみについて学ぶことができた。」など</p>
<p>②男女共同参画公開講座 「AIとジェンダーを考える」</p> 	<p>近年、身近となったAIについて、女性の雇用への影響やデータの偏りがジェンダーバイアスにつながることなどの課題から、AIとジェンダーバイアス等の関係を学ぶ講座を実施した。</p> <p>実施日：1/27（土）14:00～15:30 参加者：61名（うちオンライン43名） 満足度：91.9% 受講者の声：「現実の世界だけでなく、AIをとりまく世界のジェンダー問題にも関心を向けながら声を上げていく必要があると思った。」など</p>

### (2) 振り返り

- 県と連携して新たにジェンダー川柳コンテストを開始し、応募や投票等に子育て世代の女性を中心とした多くの県民を巻き込み、予想を上回る反響が得られた。
  - 一方で、県民意識調査※では、全体の75%が、「社会」や「周囲の人」から「男だから／女だから」といった性別による固定観念の影響を受けていることから、こうした周囲の方々への啓発や理解促進を更に充実していく必要がある。
- ※「令和5年度男女双方の意識改革に係る調査」広島県調査
- 男女共同参画公開講座では、参加者からの満足度は高く好意的な感想が寄せられており、ジェンダー格差等について考えてもらうきっかけを提供できた。

## 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

### (1) 事業内容

- 相談業務（一般相談）では、家族や職場での人間関係のトラブルや将来への不安などに対し、相談者の状況に応じて長期間寄り添った電話相談や面接相談を行ったほか、こども家庭センターや医療機関等の専門機関等へ繋ぐなどの対応を行った。令和5年度は前年度を上回る2,318件の相談が寄せられ、相談者の年代別では50代が4割を占め、「健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること」に関する相談が増加した。
- このほか、複合的な悩みを抱える女性等に対し、複数の専門家に相談できる無料相談会を実施した。
- 支援者には多岐にわたる相談対応のスキルが求められることから、困難を抱える方への支援の充実・強化を図るため、支援者養成に取り組んだ。

ア 相談業務（一般相談）※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

(7) 相談件数

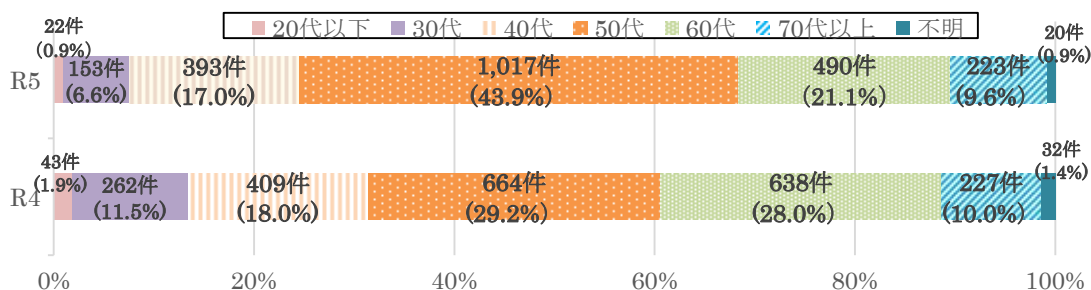
区分	電話相談※	面接相談※	計	対前年度比
令和5年度	2,218件	100件	2,318件	101.9%
令和4年度	2,165件	110件	2,275件	-

※電話相談は週5日（水曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く）、面接相談は原則、毎週金曜日

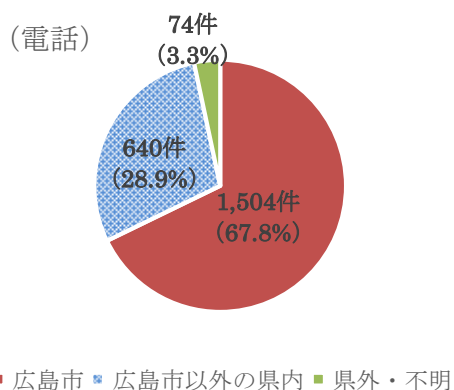
(イ) 相談内容

相談内容	令和5年度	令和4年度	対前年度比
家族（夫婦、子ども、親等）に関すること （離婚、夫婦間のDV、子どもの教育、親の世話など）	772件 (33.3%)	857件 (37.7%)	90.1%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること （男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブルなど）	495件 (21.4%)	539件 (23.7%)	91.8%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること （病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など）	944件 (40.7%)	772件 (33.9%)	122.3%
その他 （法律や福祉など様々な情報の収集など）	107件 (4.6%)	107件 (4.7%)	100.0%
計	2,318件 (100.0%)	2,275件 (100.0%)	101.9%

(ウ) 相談者の年代



(エ) 相談者の地域別件数

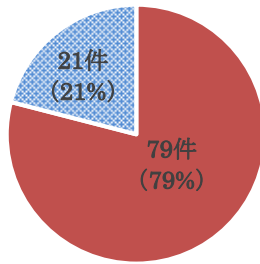


【広島市以外の県内の件数】

呉市	20	三原市	5
尾道市	2	福山市	64
府中市	1	三次市	6
庄原市	1	大竹市	1
東広島市	28	廿日市市	44
安芸高田市	1	府中町	18
海田町	6	熊野町	1
坂町	1	北広島町	2
世羅町	1	不明	438
		計	640



(面接)



■ 広島市 ■ 広島市以外の県内

【広島市以外の県内の件数】

三原市	1	府中市	1
大竹市	1	東広島市	1
廿日市市	4	不明	13
		計	21

(オ) 専門機関との連携

専門機関	令和5年度	令和4年度	主な事例
警察	3件	2件	セクハラ被害
医療機関等	7件	4件	家族との関係に関する悩み
行政機関（こども家庭センター等）	48件	30件	DV、性被害
弁護士、家庭裁判所等	40件	27件	離婚、相続
民間施設	11件	6件	金銭問題、人間関係に関する悩み
計	109件	69件	

イ 専門家無料相談会

※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

相談会	実施日	相談者	内容
<b>専門家無料相談会</b>  エソール広島 <b>無料相談会</b> 皆さんの悩みや困りごとを専門家が解決します。 今回は、LGBT相談の相談も行います。 一人で抱え込まないで、勇気を出して一歩踏み出しましょう！ ◇ 支援者によるLGBT相談 当事者について学びます。学校・職場に寄りかかれないで ◇ 臨床心理士によるこころの相談 子どもの発達のこと、家族のこと、こころの不調など ◇ 弁護士相談 ※相談は1人40分程度です 〇〇、法律相談、ハラスメントなど 開催日 2023年9月23日(土・祝) 会場 エソール広島 かわづるタワー10階 広島市南区大学町1-2-1	9/23	20名	弁護士2名、臨床心理士1名による無料相談を行い、DVや離婚等の家族問題や心の健康に関する相談に対応した。 満足度：93.7% 参加者の声：「今まで困っていたことを真剣に話して、解決してくれてうれしかった。」「専門的なアドバイスをもらえ、次の対策が分かり、気持ちが楽になった。」など
	2/23	12名	

ウ 支援者養成

講座名	実施日	参加者	内容
①対人支援の技術	6/24 7/15 7/22 11/25	55名	相談技術を身に付けた人材を育成することを目的に、対人支援で基本となる「聴く技術」を体験的に学ぶ講座を実施した。 対象：これから支援者を目指す人 満足度：91.2% 受講者の声：『「聴く技術」の奥深さを知ることができ、大変勉強になった。』など

講座名	実施日	参加者	内容
②ワンデーセミナー 「進む長寿化と高齢期生活の変容」 「子供達を社会で育む」	8/5 9/3	30名	高齢者問題と子どもの発達や成長、困りごとに対しての支援を様々な角度からワークショップ形式で学ぶ講座を開催した。 対象：支援者、支援者を目指す人 満足度：89.5% 受講者の声：「個人に関わる時にその人の背景や時代を見ることが大切だと感じた。」など
③メンタルサポーター養成講座 【全7回】	10/22 11/12 11/26 12/10 1/14 2/4 2/18	16名	社会状況の変化や人間のこころの成り立ちを理解し、男女共同参画の視点を持った相談員を養成するために、困難な問題を抱える女性や子どもの支援などの内容について連続講座を実施した。 対象：相談業務や対人援助活動に携わる方 満足度：100% 受講者の声：「学んだ知識や技能を仕事や生活で生かしたい。」など
④公開講座 「私たちの社会が抱える問題～性暴力～」	8/27	56名	「性暴力」の現状を知り、必要な支援等を自分事として考える公開講座を実施した。 満足度：86.5% 受講者の声：「性暴力についての現状や概念について詳しく知ることができた。近年の刑法改正の状況や世界や日本での性暴力被害の訴えについての情報や課題など、分かりやすく解説をして頂き、学びが進んだ。」など

## (2) 振り返り

- 専門家無料相談会では、複数分野の専門相談を受けられるなどの工夫により、相談者の満足度は9割以上と高評価を得られた。
- 相談窓口には、様々な課題が複雑に絡み合った悩みが寄せられたり、問題が解決した後の精神的支援として専門機関からエソール広島を紹介されるケースもあるため、一人一人の状況に応じた支援者の対応力向上が必要である。

## 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

### (1) 事業内容

- 性の多様性の悩み等について、週1日の電話相談を開設し、「自分の性に違和感がある」などの相談への対応や、必要に応じて医療機関等の専門機関に繋ぐなどの対応を行った。相談者の年代別では60代が3割を占め、当事者を支援する民間団体へ繋ぐ対応が増加した。
- このほか、支援者による面接相談及び専門家等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。
- 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象に、基本的な知識の理解や支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。



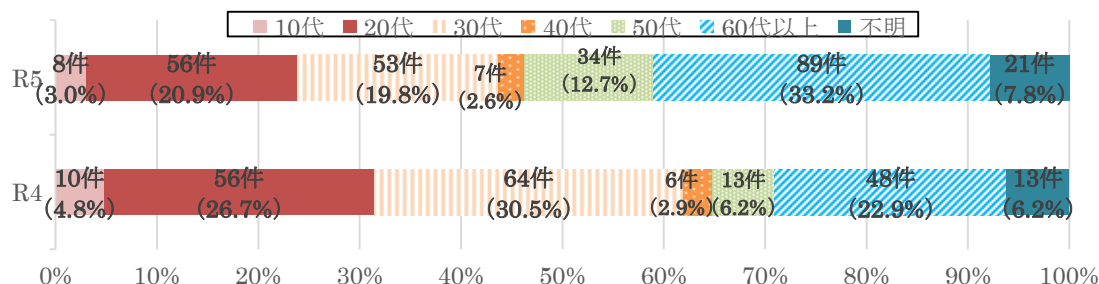
## ア LGBT 相談※

### (7) 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	対前年度比
令和5年度	263件	5件	268件	127.6%
令和4年度	210件	-	210件	

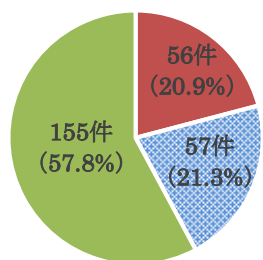
※LGBT 電話相談は平成29年10月開設（開設当初は月1回）、平成30年6月からは毎週土曜日

### (イ) 相談者の年代



### (ウ) 相談者の地域別件数

(電話・面接)



■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

#### 【広島市以外の県内の件数】

呉市	1	三原市	1
尾道市	24	福山市	5
東広島市	3	廿日市市	6
府中町	2	不明	14
熊野町	1	計	57

### (イ) 専門機関との連携

専門機関	令和5年度	令和4年度	主な事例
医療機関	4件	4件	性別違和による医療等
行政機関	1件	1件	性被害
民間支援団体	22件	12件	自分の性に違和感がある
計	27件	17件	

### イ 専門家無料相談会

相談会	実施日	相談者	内容
専門家無料相談会 ※LGBT 相談	9/23 2/23	21名 17名	支援者による個別の面接相談のほか、大学教授等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談を実施した。 満足度：93.7% 参加者の声：「専門的なアドバイスをもらえ、次の対策が分かり、気持ちが楽になった。」「自分と同じ悩みを持つ人と実際に会って話ができて、よい機会だった。」など

## ウ LGBT の理解促進

講座名	内容
①高校生向け性の多様性等に関する出前授業	性の多様性について正しく学ぶとともに、多様な人々がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうために、出前授業を行った。 (R4:28回、8,161名 → R5:23回、3,719名)
②ここいろ hiroshima 5周年事業 「仲間・つながりづくり」	悩みを抱える子供や保護者等の居場所づくりや、学校現場での授業実践など、当事者等の支援活動の紹介を通して、子供も大人も孤立しないために必要なことを考えるイベントを実施した。 参加者：160名（うちオンライン100名）
③教職員対象 LGBT 講演会 「性の多様性と教育」	若者の身近にいる教職員を対象に、性的指向や性自認に関する正しい認識と理解を深め、差別や偏見への対処法やサポートの方法などを学ぶ講演会を実施した。 参加者：117名（オンライン） 満足度：92.5% 受講者の声：「児童生徒を指導・支援する上で、基本的な理解を教職員が学ぶ必要がある。」「多様性の中に新しい言葉が出てきて、知識が付いていないと感じた。」など

### (2) 振り返り

- LGBT 相談では、同じ悩みを抱える方同士で繋がりたいという相談者のニーズを踏まえたグループ相談の場の提供など支援の充実を図ったところであり、引き続き、相談者のニーズに応じた取組が必要である。
- 性の多様性等の理解促進では、高等学校への出前授業において、LGBT 等当事者でもある支援者が自らの体験を交えながら授業を行うことで、生徒からは「今までは他人事のように知識として知っているだけだったと実感した。」といった声が寄せられるなど、より身近に考えることのできる機会を提供できた。

## 4 重点分野以外の取組等

### (1) 事業内容


- 重点項目以外の取組として、ジェンダー平等などについて考えるきっかけとなるよう、関係団体等と連携した共催事業や企業等からの研修受託、高校への出前授業等を行うとともに、図書等の配架・貸出や SNS 等を利用した講座・研修の情報発信等を行った。
- 民間団体等との共催事業や研修受託は前年度に比べ増えたものの、高等学校への出前授業は講師派遣の調整が困難などの理由により減少した。

### ア 共催事業

県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げて、講座やイベント等を行った。

区分	回数（団体数）	参加者	内容
令和5年度	28回(17団体)	1,517名	「50代女性のためのキャリアデザインセミナー」、 「FEMTECH FES（フェムテック フェス）」など
令和4年度	27回(13団体)	637名	「みんなのDX研修～女性×デジタル～」、 「SNS集客セミナー」、「女性と政治参画」など

(主な共催事業)

講座名	内容
 <p><b>FEMTECH FES</b> 2023 in Hiroshima 7/17 (祝・月) 13:30-17:00 参加費 無料</p>	<p>生理や妊活、妊娠期、産後、更年期など、女性特有の健康課題をテクノロジーの力で解決しようとするフェムテックに関するセミナーに加え、民間企業が、女性の生理用品や食品等のブース展示を行ったほか、進徳女子高等学校の生徒による「生理の貧困」に関する学びの展示も行い、多数の来場者があった。(ブース出展 10 団体)</p> <p>実施日：7/17(月・祝) 13:30～17:00 参加者：120 名</p>

イ 研修受託

企業・団体・行政からの受託を受け、ジェンダー平等に関する講演・講座に講師を派遣し、意識啓発を行った。

区分	回数 (団体数)	参加者	内容
令和 5 年度	25 回 (17 団体)	1,692 名	男女共同参画、LGBT、キャリアデザインなど
令和 4 年度	19 回 (13 団体)	874 名	

ウ 出前授業

高校生がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうため、講師を学校へ派遣し出前授業を実施した。

区分	回数	参加者	内容
令和 5 年度	24 回	3,911 名	性の多様性等 (23 回、再掲)、 デート DV (1 回)
令和 4 年度	32 回	8,640 名	

エ 大学、高等学校等との連携・交流 4 件

これまで利用の少なかった若年層の自主的な活動の場づくりとして、大学・高等学校等との交流・連携を図った。

連携先	実施日	内容
叡啓大学	6/15 7/20 1/30	SNS の利用拡大などにより、リアルな人間関係が希薄になる中で、25 歳以下の学生等が自主的に企画・運営する性的マイノリティ当事者等の居場所づくりを目的とした活動を支援した。 参加者からは、「これまでに感じたことのないくらい居心地がよかった、また開催してほしい。」という声があった。
安田女子大学	7/6	公的施設の役割を学ぶため、エソール広島の歴史及び取組を学ぶ講座を実施した。エソール広島に来たことがない学生も多く、「役割や事業内容を知ることができた。」と好評だった。
進徳女子高等学校	7/17	女性特有の健康課題について考えるイベントにおいて、生徒が県立図書館の関連図書の選定を行い展示した。 参加者からは、「図書の選定を行い新しい発見があった。」「機会があれば、またやってみたい。」という声があった。

連携先	実施日	内容
進徳女子高等学校	1/27 2/24	能登半島地震で被災した女性や子供たちを支援するため、他の高等学校と連携し実施した生理用品及び育児用品の購入にあてるための募金活動を支援した。
叡啓大学 県立広島大学 安田女子大学 修道大学	10/23	「イクメン」という言葉について、職場や家庭において持つイメージを大学生同士で意見交換するワークショップを開催し、交流につなげた。 参加者：県内4大学、15名



#### オ エソールつながるトークリレー (YouTube 動画配信)

テーマ	公開期間	講師	視聴回数
からだ・こころ・くらしのセルフコントロール	10/10～	上手幸治さん (広島経済大学准教授)	405回
女性に対する暴力をなくそう (DV編/性暴力編)	10/28～ 2/29	北仲千里さん (広島大学准教授)	449回

#### カ 情報発信等の状況

ホームページ上でセミナーの案内や実施内容、施設利用について発信をしたほか、フェイスブックやインスタグラムなどの SNS を利用し、施設の利用案内や各種講座・研修の情報発信を強化した。

また、女性問題、DV、人権、LGBT など男女共同参画やダイバーシティ等に関する図書等を配架、貸出しを行った。※詳細は、[参考](#)情報発信・蔵書貸出状況のとおり (P12)

#### (2) 振り返り

- 女性特有の健康課題について考える「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」を民間団体と共催し、関連企業や団体、高校生など 10 団体の出展により実施したところ、団体同士の交流が生まれ、その後の継続的な連携イベントに繋がった。
- また、複数の大学生の参加によるワークショップでは、これまで利用の少なかった若者同士が意見交換を行い、「世代間や同じ大学生でも考え方の違いがあることに気付かされた。」などの感想意見が寄せられた。
- 企業や民間団体、市町等が連携してジェンダー平等に取り組むことが重要であることから、そうした活動を行う個人や団体の掘り起こしや、団体同士を繋ぎ活動を活発化させるための取組が必要である。
- フェイスブックやインスタグラム等の SNS の情報発信を強化したが、ホームページの閲覧数の伸びにはつながらなかった。また、ホームページの改修を行い、コンテンツを充実させて情報発信力を強化し、認知度向上と活動の活性化に努める。

## 第2 エソール広島の利用状況について

### 1 エソール広島の利用状況

#### (1) 利用状況

##### ア 利用者数

- 新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除に伴い、エソール広島の各種事業の再開や、ジェンダー関連イベントなどの利用が広がったことにより、前年度に比べて利用者数は増加した。
- 一方、高等学校への出前授業等の実施校の減少や、エソール広島の講座等への県東部や北部からの参加者が少ないなどの理由により、利用者数目標の3万人には達していない。

区分		令和5年度A (割合)	令和4年度B (割合)	対前年度比 A/B
利用者数		25,566人 (100.0%)	25,132人 (100.0%)	101.7%
うちオンライン参加		1,802人	2,501人	72.1%
内 訳	施設利用者数	19,611人 (76.7%)	15,261人 (60.7%)	128.5%
	うちオンライン参加	1,802人	2,423人	74.4%
	研修室・交流スペース利用	17,136人	13,280人	129.0%
	うちオンライン参加	1,802人	2,423人	74.4%
	フリースペース利用	2,475人	1,981人	124.9%
	外部施設で開催した出前授業等の参加	5,955人 (23.3%)	9,871人 (39.3%)	60.3%
うちオンライン参加		0人	78人	-

##### イ 研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は81.7%と、前年度に比べて3.3ポイント上昇している。

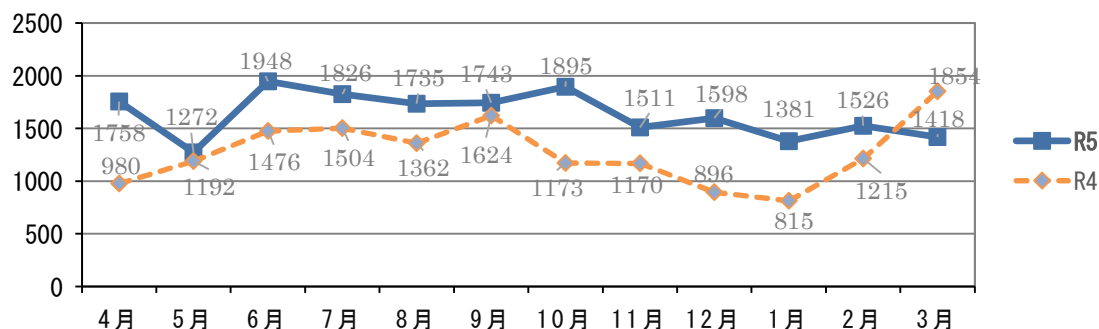
区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率 B/A
令和5年度	360日	294日	81.7%
令和4年度	357日	280日	78.4%

##### ウ 月別の施設利用者数

令和5年度は、前年度に比べて、3月を除く月で利用者数が増加し、毎月1,200人を上回る利用があった。

##### 【利用者数（月別）】

(単位：人)



## エ 施設利用者の団体区分別の利用状況

団体区分別でみると、企業等が9,885人（50.4%）で最も多く、そのうち利用形態別では、講座・研修での利用が4,019人（40.6%）と多い。共催・連携団体は1,635人の結果となった。

区 分	令和5年度 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	(利用形態)				令和4年度	対前年 度比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ	その他		
共催連携 団体	1,635人 〔8.3%〕 (100.0%)	921人 (56.3%)	313人 (19.1%)	277人 (16.9%)	124人 (7.6%)	1,221人	133.9%
企業・NPO等	9,885人 〔50.4%〕 (100.0%)	4,019人 (40.6%)	1,574人 (15.9%)	4,040人 (40.9%)	252人 (2.5%)	7,916人	124.8%
行政	3,980人 〔20.3%〕 (100.0%)	2,589人 (65.1%)	15人 (0.4%)	1,348人 (33.9%)	28人 (0.7%)	2,019人	179.8%
男女共同参画 財団(主催事業)	1,636人 〔8.3%〕 (100.0%)	1,232人 (75.3%)	158人 (9.7%)	235人 (14.3%)	11人 (0.7%)	2,124人	77.0%
フリースペ ース利用者	2,475人 〔12.6%〕 (100.0%)	—	—	—	2,475人 (100.0%)	1,981人	124.9%
合 計	19,611人 〔100.0%〕 (100.0%)	8,761人 (44.7%)	2,060人 (10.5%)	5,900人 (30.0%)	2,890人 (14.7%)	15,261人	128.5%

※割合は端数調整の関係で合計が一致しない場合がある。

### (2) 振り返り

- 目標としている利用者数に届いておらず、その要因として、エソール広島の活動の周知や認知が広がっていないことや、広島市域以外の利用者の増に繋がっていないこと、市町や関係団体と広報啓発や活動の連携が十分できていないことなどが挙げられる。

## 第3 今後の取組の方向性


- 利用者ニーズや社会環境などを踏まえた講座等のテーマや実施方法を工夫するとともに、ホームページを改修し、コンテンツの充実を図るなど訴求効果の高い情報発信を行い、認知度の向上を図るとともに利用者の満足度を高め、利用者数の増加に繋げる
- 広く県内各地から利用されるよう、市町等との連携を強化し、講師派遣やイベント等についての広報周知、オンライン中継配信など参加者の属性に応じた参加しやすい手法を検討し実施する

など、エソール広島の実施する事業の見直しや充実を図っていく。

なお、依然として家事・育児等の無償労働時間は女性に偏り、男女の賃金格差は大きく、その背景には、固定的な性別役割分担意識があると指摘されており、こうした状況も踏まえ、将来のエソール広島の役割や機能などについて、女性団体や有識者など幅広い方々の意見を聞きながら今後の方向性を検討していく。

**参考** 情報発信・蔵書貸出状況

1 ホームページ等

ホームページ	アクセス件数：107,257件（前年度：118,183件） アクセスの多いページ（HOMEを除く） ①施設案内・予約（7,267件） ②施設利用（7,222件） ③相談したい方（6,389件） ④エソール広島の概要（5,038件） ⑤施設予約状況（3,300件） ⑥講座情報（2,886件） ⑦講座イベント情報（2,844件）⑧第21期メンタルサポーター養成講座（1,545件） ⑨講師派遣（1,429件）⑩広島県相談機関・支援団体一覧（1,348件）	
フェイスブック	投稿回数：101回（前年度：72回（情報数82件）） フォロワー数：744人（前年度：717人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（41件） ②イベント情報（共催事業）（14件）③国・県情報（29件） ④図書の紹介（11件） ⑤施設情報（6件）	
Instagram	投稿回数：70回（前年度：36回（情報数39件）） フォロワー数：186人（前年度：106人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（17件） ②イベント情報（共催事業）（11件）③国・県情報（26件） ④図書紹介（11件） ⑤施設情報（5件）	
ライン	投稿回数：20回（前年度：36回） フォロワー数：71人（前年度：86人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（11件） ②イベント情報（共催事業）（1件）③国・県情報（5件） ④図書紹介（0件） ⑤施設情報（3件）	
メールマガジン	配信回数：33回（情報数122件） （前年度：32回（情報数154件）） 登録者数：1,369人（前年度：1,244人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（55件） ②イベント情報（共催事業）（22件）③国・県情報（30件） ④図書の紹介（9件） ⑤施設情報（6件）	
ユーチューブ	公開本数：7本（総登録数74本） （前年度：14本） 登録者数：142人（前年度：123人） 視聴回数：3,467回 総再生時間：263.5時間	

2 文献情報等

区分	保有数	貸出数		
		令和5年度	令和4年度	
一般図書	女性問題に関する図書、女性の活動を支援する図書	2,962冊	278冊	399冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	433冊	(館内閲覧)	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	50本	2本	0本